

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	ハイチ復興基金拠出金(任意拠出金)		担当部局庁	国際協力局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度開始		担当課室	国別開発協力第二課		課長 徳田 修一		
会計区分	平成22年度補正		施策名	VII-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	2010年1月に発生したハイチ大地震を受け、同年5月にハイチ復興のための資金を集約、調整、配分することを目的として設立された「ハイチ復興基金」に対して拠出し、農業・教育等に関する復興緊急プロジェクトの実施に向けた資金供給を目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	2010年1月に発生したハイチ大地震を受け、同年5月にハイチ復興のための資金を集約、調整、配分することを目的としてマルチ・ドナー基金である「ハイチ復興基金」が設立された。我が国は、2010年3月にNYで開催された支援国会合において、総額約1億ドルの支援を表明し、震災国としての経験と知見を活かし、ハイチの国家再建のために、教育・人材育成、保健・医療、食料・農業の3分野を中心に、対ハイチ支援を積極的に実施しており、右方針の下、ハイチ復興基金へ3千万ドル(28億2千万円)を拠出し、ハイチの緊急復興プロジェクトの実施を通じて同国の復興支援に貢献する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算		21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算		-	2,820	-		
		繰越し等		-	-	-		
		計		-	2,820	-	-	
	執行額		-	2,820				
	執行率(%)		-	100(%)				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	瓦礫除去や開発分野でのハイチ大地震からの復興事業を通じ、ハイチの国家再建に貢献する。 【参考指標】瓦礫除去進捗率(2011年10月現在約50%)		成果実績	m ³	-	-	2,000,000	-
			達成度	%	-	-	20%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	震災によって大きな被害を受けたハイチの復興に資する瓦礫除去や開発分野のプロジェクト承認件数。		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	12	-
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	-	-	-	-				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	特段問題なしと認識。		
予算監視・効率化チームの所見			
-		-	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		-	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			